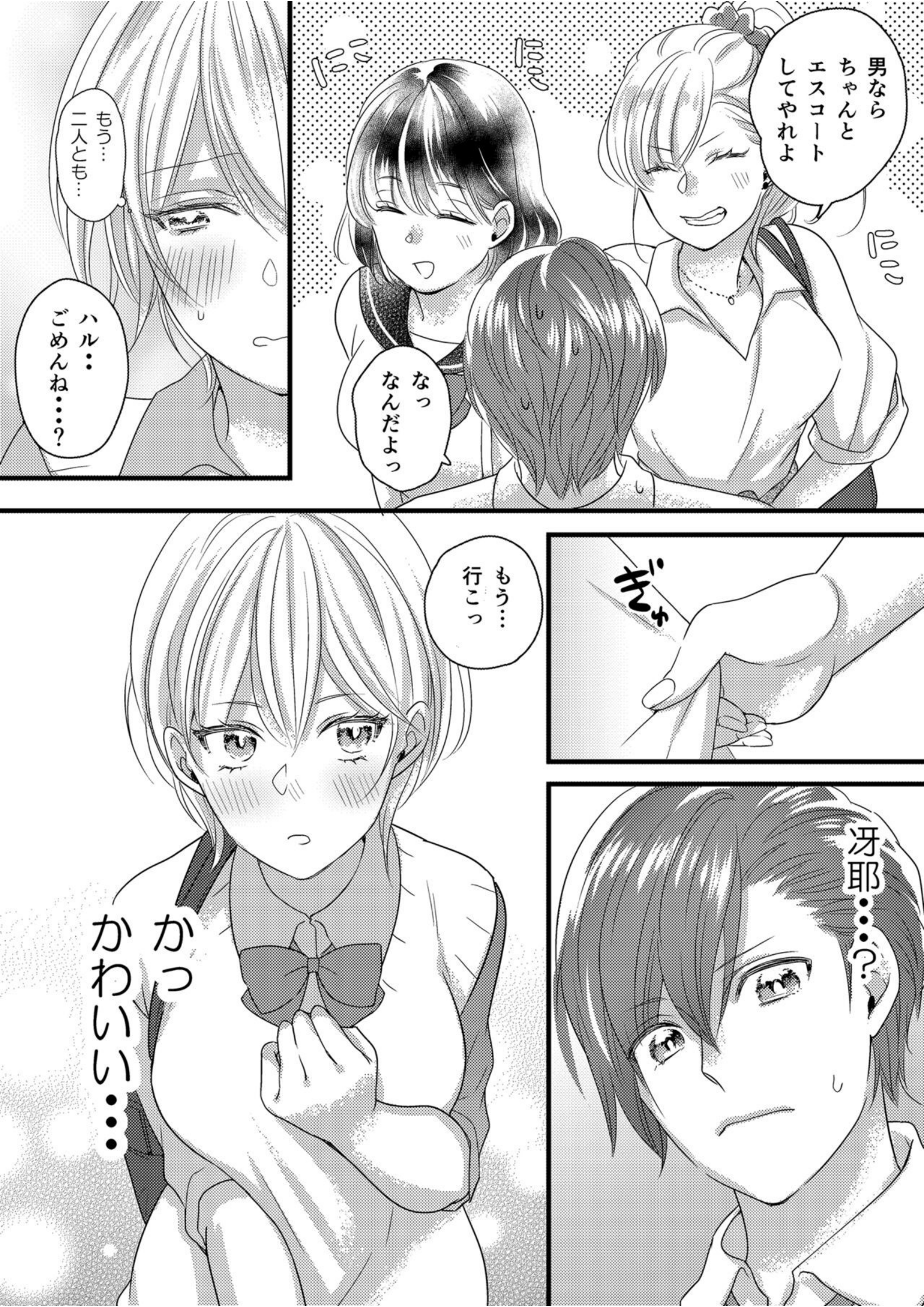
ハル・・・
一緒に帰らない？ねっ？
さっ冴耶…っ
いや…いいけどさ
いいのかイヤなのかハッキリしないなぁ
男としてどうなのよ？
ハルくんさぁ…
ちゃんとリードしてあげなきゃだめだよ・・・


男なら
ちゃんと
エスコート
してやれよ
にこ
なっ
なんだよっ
もう…
二人とも…
ハル・
ごめんね・・・?
ぎゅ
もう…
行こっ
冴耶・・・?
かっ
かわいい・・・

透き通るような白い肌
熟れた果実のような唇
線が細くて守ってあげたくなるかわいさ
アイツは
男だっ！
かわいい…ホントにかわいいんだよ…冴耶っ
だけどだけどな…
っていうか何だよあの胸はっ！
男のくせになんで膨らんでるんだよ！
ヌーブラとパットで加工済み
男だって分かってるのに…
なんで勃起してきちゃうんだよ

いいかっハル…
この後絶対
自分の部屋に
連れ込んで
私たちの口からは
言えないような
あれやこれやを
するんだぞっ！
冴耶ちゃーんっ
がんばれーっ
冴耶とは〇学校からの
付き合いだから男だって
分かっているけど
地元から遠い学校へ
進学したこともあり
親しい友人くらいしか
冴耶の本当の性別は
知らない
アイツら
あんなこと
言ってるけど
気にすんなよ…
う…
うん…
ジェンダーレスの
声の高まりもあって
学校側も配慮して
冴耶の性別は
隠しているようだ…

こうやって見ると本当にキレイな顔してんな…
もし…冴耶が本当の女の子だったら…
チラ…
なっなぁ…冴耶ってどんな奴がタイプなんだ？
やっぱりその…男が好きなのか？
えっ…？
くす
僕はただ好きな洋服を着てかわいいって言われたいだけ…
だから別に男の子が好きというわけじゃないんだ…

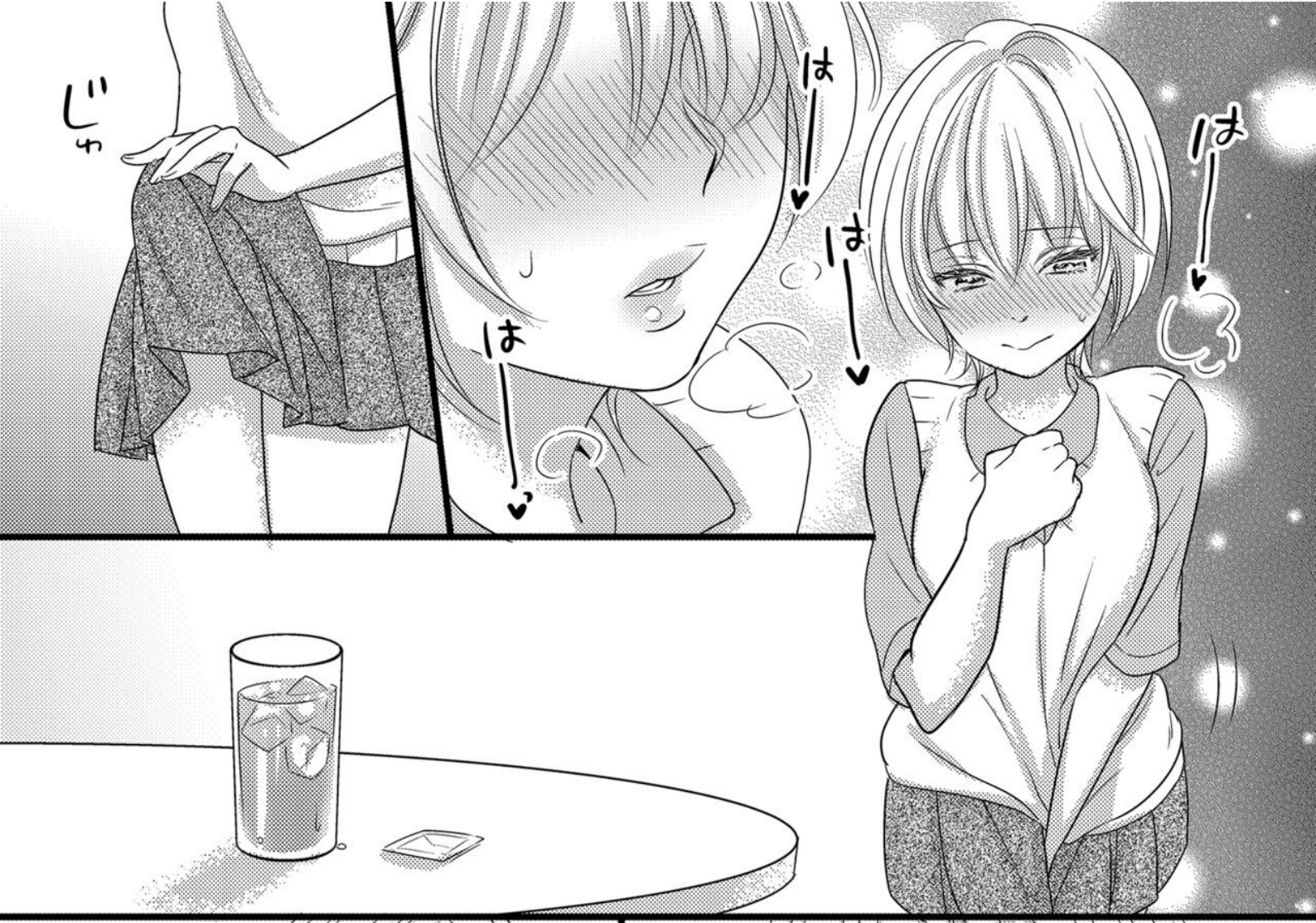
なんで
急にそんなこと
聞くの？
ハル・・・
冴耶が
たまに見せる
あの目つき…
いつも
ドキッと
させられる…
いや…
なんとなく…
まるで
俺の心まで
見透かして
いるようだ…

日に日に
可愛くなってくしさ
好きな人でも
できたのかなって…
肌とか
すげぇキレイだし…
あ～
これ？
スキンケアに
気を配ってるって
いうのもあるけど
ほとんど
化粧のお陰
だからっ

でもハルに可愛いって
言われると
嬉しいな
ありがとっ
うん…
ドキ
ドキ
っというかさ
前から
ずっと思って
たんだけど
え？
ハルだってキレイな
顔してるんだから
化粧すれば絶対
可愛くなれるって！
僕が化粧してあげようか？
可愛くしてあげるよっ

だけどさっ
ホントハルって
近くで見ると
化粧映えしそうな
顔してるよね
顔だって
整ってるしさ
そうだっ
今日家に
おいでよっ
僕の洋服貸してあげるから
一回女装してみなよ！
絶対似合うからっ
ふぁっ？
なんで俺が
女装しなきゃ
いけねぇんだよ！
俺絶対
やんないぞ！
イヤなら別に
いいよ？
明日みんなに
帰り道にレイプ
されたとか
噂広めるからっ
ちょっ！
お前
ふざけんなって！
ったく
なんなんだよ！
女装するしか
ねぇって
事かよ！
やった

さぁ
入ってよっ
何か飲み物
持ってくるから
どこか適当に
座っててよっ
もっと
女の子っぽい部屋
かと思ったけど…
割と小ざっぱりした
部屋なんだな
座ってろって
言ってたけど…
何か…
落ち着かない…


はーい♡
はーい♡
はーい♡
じゃ

僕だけのモノになるね
ハル…
はーい♡
もうすぐ…

はーい♡
これで…
はーい♡
もぐ…
もぐ
もぐ

ガチャ
おまたせっ
お…う…
ここ
座ってよかったか？
何遠慮
してんだよっ
別にどこでも
大丈夫だってっ
カラン
ハルに似合いそうなの
いっぱいあるしっ
それじゃ
それ飲んだら
女装してみよっか！
まだ本気でそんなこと
言ってんのかよ！
まぁまぁ
いいじゃんっw
僕しか
いないんだから
恥ずかしく
ないでしょ？w
ちゃ、
この衣装でも
良いけど…
どうしよう…
これだっ
じゃ～んっw
このバニーなんて
どう？w
セクシーで
超似合いそうw
ふざけんな！
大事な具が出るん
だろうが！

着丈がちょっと
足りないかも
しれないけど
全然いけるって！
何がいけるんだよ！
男の俺がそんなの
着れないって！
もしかして…
独りじゃヤなの？
しょうがないなぁ…w
僕も一緒に
着替えてあげるよ♪
ぬぎ
っちょ！
お前脱ぐなって！
何言ってんのっ！
子供のころは
一緒に着替えたり
してたじゃんっ
今更ハルの
見たって
何とも思わないって！
女装するのと
更衣室で着替えじゃ
全然違うだろ！
往生際が悪いよ
ハル
僕はハルの
コスプレが
みたいのっ
あはっ
やっぱり
似合うじゃんw
あ…あぁ…
大事な何かが
崩れてく…

ほらほらぁ
これ被ってw
どうって
言ったって…
こんなん
アウトだって…
どう？
女の子に
なった感想は…

やっぱり
良く似合ってる！
すごいねっ
ハル
可愛いよ
可愛いって…
うれしくねぇよ！
くそっ
静まれ…
俺のムスコ！
アレが
生地に擦れて…
何か
変な気分に
なってくる…
ほらほらっ
ちゃんと胸
張って
ぐぃ
うわっ
猫背じゃ
様にならないよ
なんで俺が
こんなこと
しなきゃ
いけないんだよ…
ったく…
もういいだろ？
脱ぐぞ？
大騒ぎしたもんで
暑くなっちまった
じゃないかっ！
キタ

わく
わく
カラ
あ…れ？

こんな強引なことしてごめんねハル…
ハルの事考えると欲望が止まらなくなっちゃったんだ…
僕ね…小さい時からハルが憧れだったんだ…ハルの女の子みたいにキレイな顔…ハルが女の子だったらってずっと思ってたんだ…
す…
……
ハルに少しでも近づきたかったから必死でがんばった
慣れないメイクもやった
そんなハルに僕は強い憧れを抱いた…
ちっちゃいころのハルは本当に女の子みたいにかわいかった…
僕もハルみたいに可愛くなりたい…
今となっては僕の方が可愛くなっちゃったけどね
だからね…ハル…
僕が憧れたかわいいハルに戻してあげる

頭の中も全部…
女の子にしてあげるね…
ほらっ
僕の目を
よく見て？
全部全部
僕の理想にしてあげる…
僕が
ハルのご主人さま
だよ…
さぁ…
僕の理想の
女の子に
なろ？
ああぁあっ！
うう…っ

ぐ
ぐ
きゅ
ぐぐ
ぐぐ
じじ
パチ
ぱき
グッ

……
ハル…
やっぱり
かわいい…
僕の理想の
女の子だ…
ふふ・・この目・・・
ちゃんと洗脳も
されてるね…
ちゃんと僕の
いうこと聞いてくれたら
元に戻してあげるから…
端正な顔…
折れそうなくらい
くびれた腰なのに
大きな胸…
もう僕…
興奮が止まらないよ…
何で女の子に
生まれてこなかったの…!?

本当に抜群のスタイルだよね…
僕なんか比じゃないくらい…
ほら…よく見て？今ハルはだれもが振り返るような女の子なんだよ…？
誰もが羨む容姿…大きくてふわふわな胸とお尻…
さぁハル…女の子になろ？
汚い男の体なんて捨ててかわいい女の子になろうよ
う…う…ちがう…わた…し…は…
ふーんまだ未練があるの？
ひっ♥
ふふ…
ぺろ
さーなっあたし…もう我慢できないの…っ
おねがい…ちゅーしよっ
ちゅん♥

ふふ…
クリトリス
いじられただけで
簡単に堕ちちゃってっ
かわいいね…ハル
もうこのまま男に
戻さないでおこうかなっ
ほらっ
こっちおいで
ハル…
あ…っ
あぁ…
ハルのきれいな顔…
もっと見せて…
ん…
ん
はン
冴那…
好き…
僕もだよ…
ハル…

んっ…？
どうしたの？
僕のちんち○
しゃぶりたいの…？w
待って…
今出して
あげるから…
はぁ…♡
冴那の…
ち○ぽ…♡
ハル
ハルっ
そこ…っ
きもち…
あっ

やんっ
そこ見ないでぇ
恥ずかしい…
偉いね
ハル…
うん…♡
でもちゃんと
ごっくんしなきゃ
ダメだよ?
ハル…
好きだよ…
んっ
もうどこにも
行かないでね…
私も…っ
大好き♡
幸せだよ…
冴那♡
冴那
冴那ぁ
何で俺に
胸があるんだ…?
あれ…?俺…
何やってんだ…?
もっと…
もっと突いてぇ

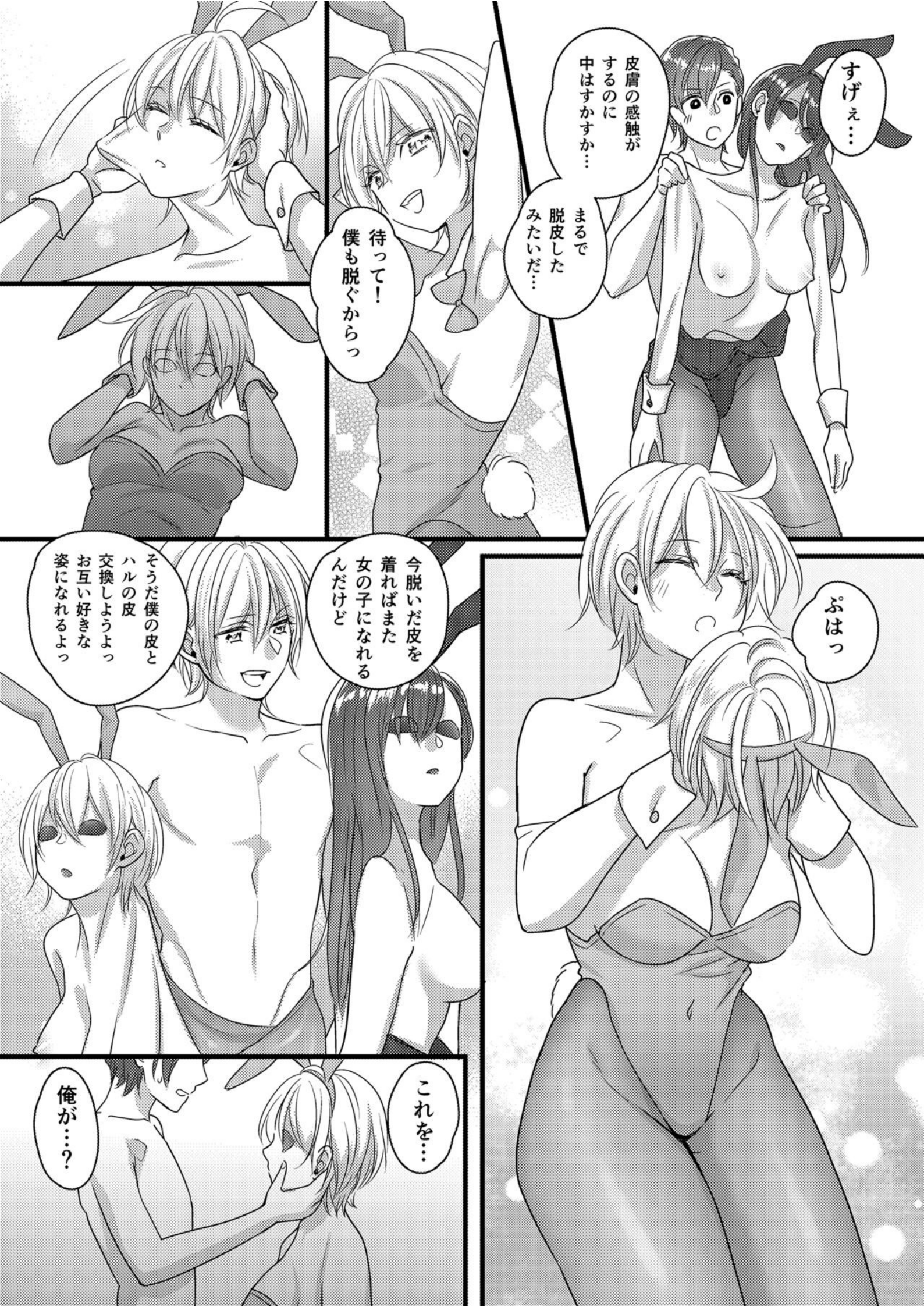
んっ…
……あれ…夢？
何で俺…
俺…
どうしたんだっけ
女なんだ…？
って何
この声！
まさか
むっ胸が…
でかくなってる…
夢じゃ
なかったのかっ？
それにこの衣装…
そうか…確か
これって牙那
から渡された
バニーの衣装だ！
っていうか
股がすげぇ
ズキズキして…
んっ
こ…これって
精液…？
それに
血が…
どどどど！
どういう事？
これじゃ
まるで俺が
処女を喪失
みたいじゃないか！

あっ
起きた？
今コーヒー淹れてるから
待っててっ
洗脳の薬微量しか
混ぜてないから
もう自由に体
動かせると思うけど
どう？
女の子になった
感想は？
まだ鏡見てないと
思うけど
スゴイ美女に生まれ
変わったんだよ？
もしハルが女の子に
生まれてたら
すごくモテて
たんだろうね…
ごめんね…
強引な事して…
どうしても
僕の気持ち
受け止めて
欲しかったから…
実は僕ね…
小さい時から
ハルの事が
憧れだったんだ…
ううん…
憧れ何かじゃない…
ずっとハルになりたくて
恋してたんだ…
だからね…
僕の思い描く理想の
女の子になってもらいたくて
性転換する薬を
作ったんだ…
僕の中で
乱れてるハル…
すごく魅力的
だったよ…
ねぇ…
女の子って
凄く気持ちよかった
でしょ…
乳首をちょっと
いじっただけで
体が弾んじゃってさ
ハルは乳首が
性感帯なんだね
あ♡
ちょっ
胸揉むなぁ！

冴那…
お前さ…っ
もしかして…お前
女になった俺の事が…
好きって事なのか…？
んっ？
そうだよ？
さっきから大好きって
言ってるじゃんw
なぁ…
冴那…
実はさ…
おっ俺も…
ずっと…
冴那が女の子
だったらなぁって…
女の子になった冴那
を妄想しただけで
ドキドキしちゃって…
えっ？
もしさ…
さっきの薬で冴那も
女の子になってくれたら
俺…女の子のママで
いるからさ…っ
だからさ…冴那も…
えっと…
まさかハルも
女の子になった僕が
好きってこと？
あんっ♡
なんだ…
洗脳とかしなくても
僕たち両想い
だったんだね…
いいよ…
僕も女の子に
なってあげる…

どうかな…？
ハル…
ぼく…
かわいい…かな？
かっ
かわいい！
あ…
ありがと…
でも
ハルの方が
全然かわいいって…
ハル…
ぼく…もう…
なぁ…
冴那…
んっ何？
ハル
どうやって
元に戻るんだよ…
この体…
やっぱ
そこ気になる？

それじゃハル
僕に背中向けて
特殊なナイフで
切れ目を入れるけど
全然痛くないからっ
あ…うん…
切れ目？
はいっ
もういいよ！
そしたらこの
切れ目を横に
引っ張ってみて！
えっ？
切れ目を？
これを…
引っ張れば
いいのか…
って…
なんだか
息苦しい…
うわっ！
なんだこれっ！
なんか
一枚脱げたぞ！
この体…
脱いだら
男の体だ！
ちゃんと
元に戻ってる！
そっ
すごいでしょ！
自分の皮膚の上に
もう一枚皮膚を
作るような感じで
変身するから
脱げば元に戻るの！


すげぇ…
皮膚の感触がするのに中はすかすか…
まるで脱皮したみたいだ…
待って！僕も脱ぐからっ
ぷはっ
今脱いだ皮を着ればまた女の子になれるんだけど
そうだ僕の皮とハルの皮交換しようよっお互い好きな姿になれるよっ
これを…
俺が…？

頭まで被れば
背中の切れ目は
消えるからっ
とりあえず
着てみなよっ
う…うん
うまく
着れた？
ハル
ガタン
うわっ！
さっきまでの
俺だ…
ふふ…
すげぇ…っ
本当に
冴那だ…
女の子の
冴那だ……
ドキ
ドキ
今日から
僕がハル
ハルが僕…
だよ？
学校でも
どこでも…
もうずっと
このままで
いようね…
ドキ
ドキ
あん♥
つづく